

# 2001 年度日本経済学会 総会議事録（案）

2001 年 10 月 8 日

13:30～14:20

一橋大学 東 2 号館 B-1 会場

冒頭、奥野 正寛 会長から、2001 年度春季大会の三野 和雄 プログラム委員長、時政 昴 運営委員長、秋季大会の大塚 啓二郎 プログラム委員長、山崎 昭 運営委員長に対して謝辞が述べられた。

## 総務関係

1. 理事による無記名投票の結果、2002 年度副会長候補として、  
足立 英之、猪木 武徳、川又 邦雄、橘木 俊詔、八田 達夫  
(五十音順) の 5 氏が選出されたとの報告がなされた。

2. 次期理事の選挙の結果、以下の理事が選出されたことが報告され、承認された。

浅子和美、足立英之、石井安憲、板谷淳一、伊藤隆敏、伊藤元重、猪木武徳、井原健雄、  
江崎光男、大川昌幸、大住圭介、太田 誠、大竹文雄、大塚啓二郎、小野善康、金本良嗣、  
斉藤 誠、酒井泰弘、坂下 昇、佐々木公明、駿河輝和、瀬古美喜、惣宇利紀男、橘木俊詔、  
多和田眞、出井文男、時政 昴、西村清彦、樋口美雄、藤田昌久、細江守紀、堀 元、  
三野和雄、宮越龍義、森誠、森棟公夫、八木匡、藪下史郎、吉野直行、若杉隆平

3. 次期理事のなかで次期常任理事として以下の方々が選出された。

伊藤隆敏、猪木武徳、西村清彦、樋口美雄、藤田昌久、三野和雄

4. 2002 年度の春季大会開催校は、小樽商科大学（運営委員長：山本 賢司 会員、プログラム委員長：藪下 史郎 会員）にお引き受けいただき、日程は 6 月 15 日（土）になることが報告された。また、秋季大会は、広島大学（運営委員長：前川 功一 会員、プログラム委員長：小野 善康 会員）にお引き受けいただき、日程は 10 月 13, 14 日（日、月）であることが報告された。

5. 自己都合および逝去による 41 名の退会者と会費滞納による 19 名の退会者があるとの報告がなされ、承認された。

6. 本日までに申込書の提出があった 165 名の新入会員希望者については、審査の結果すべて資格要件を満たしており、入会を認めたい旨の提案がなされ、承認された。

7. 賛助会員について 3 社の退会があったことが報告され承認された。また、3 社の入会が承認された。

## 渉外関係

1. 本年度（第7回）「日本経済学会・中原賞」の受賞者は、チャールズ・ユウジ・ホリオカ会員に決定したことが報告された。また、2002年度の「中原賞選考委員会」は、理事による投票の結果、西村 和雄、八田 達夫、吉川 洋の3会員が新委員となり、会長・前年度選考委員長の奥野 正寛氏を加えた4名が国内委員となった。委員長は最高得票者の西村和雄会員になったことが報告された。

2. ホームページの試行版が開設されたことの報告があった。

3. 日本学術会議関係の報告事項として、

・第18期経済統計学研究連絡委員会委員候補者として清水 雅彦会員を推薦したことが報告された。

・平成14年度科学研究費補助金の審査委員候補者の推薦について：経済理論に2名、経済統計学第1段に2名、第2段に1名の新委員候補を推薦したことが報告された。

4. 日本経済学会連合関係の報告事項として、以下の報告があった。

・大会補助金について、5万円を申請して交付された。

5. 日本経済学会・中原賞の寄付金を使い尽くした後の措置について、

① これまで50万円の賞金であったのを、講演・原稿謝金と講演のための学会出席旅費（海外在住者の場合には、海外からの旅費を含む）を支給することに変更する。なお、海外からの旅費については何らかの形で上限を定める。

② 2年に1人にする。

旨の提案が行われ、了承された。

## 機関誌関係

1. 日本語刊行物『現代経済学の潮流 2001』が刊行され、有資格者に送付されることが報告された。

2. Japanese Economic Review の投稿・審査状況について報告された。

3. 2002年度の日本語刊行物『現代経済学の潮流』の編集委員は、中山 幹夫、福田 慎一、本多 佑三の3会員と2001年度秋季大会プログラム委員長の大塚 啓二郎 会員になることが提案され了承された。

## 会計関係

1. 2000年度の決算が報告され、了承された。
2. 2002年度の予算案が提案され、承認された。

#### その他

1. 2001年度の **Far Eastern Meeting of the Econometric Society** が神戸大学において開催されたことが主催校の岸本哲也会員から報告され、日本経済学会の支援に対する謝辞が述べられた。

最後に、奥野 正寛会長から、2001年度春季大会の三野 和雄 プログラム委員長、時政 昴 運営委員長、秋季大会の大塚 啓二郎 プログラム委員長、山崎 昭 運営委員長に対して謝辞が述べられた。

# 2002年度日本経済学会 総会議事録

2002年10月14日

13:30～14:20

広島大学 特別会場 A

冒頭、吉川洋会長から、秋季大会の開催大学である広島大学、秋季大会運営委員長、前川功一氏に対して、謝辞が述べられた。拍手をもって会員から感謝の意が示された。

## 総務関係

1. 理事による無記名投票の結果、2003年度副会長候補として、伊藤隆敏、金本良嗣、川又邦雄、橘木 俊詔、矢野誠（五十音順）の5氏が選出されたとの報告がなされた。
2. 2003年度春季大会・秋季大会。2003年度の春季大会開催校は、大分大学（運営委員長：五十嵐副夫氏（会員、大分大学）、プログラム委員長：大竹文雄氏（理事、大阪大学））にお引き受けいただき、日程は6月14日（土）になることが報告された。また、秋季大会は、明治大学（運営委員長：里見常吉氏（会員、明治大学）、プログラム委員長：岩田規久男氏（会員、学習院大学）にお引き受けいただき、日程は10月12, 13日（日, 月）であることが報告された。
3. 自己都合および逝去による47名の退会者と会費滞納による18名の退会者があるとの報告がなされた。
4. 賛助会員について。現状は16社の賛助会員があること、今年度一社の退会があったことが報告された。
5. 海外特別会員として1名の入会があったことが報告され承認された。
6. 本日までに入会希望者の提出があった169名の新入会員希望者については、審査の結果すべて資格要件を満たしており、入会を認めたい旨の提案がなされ、承認された。
7. 春季大会について。申込み数が急増していることから、2004年度から、学会の開催日を2日にすることを、理事会で決定したことが報告された。

## 渉外関係

1. 日本経済学会・中原賞について。本年度（第8回）「日本経済学会・中原賞」の受賞者は、神取道宏氏、（東京大学）に決定したことが報告された。また、2003年度の「中原賞選考委員会」は、理事による投票の結果、八田達夫、矢野誠の2会員が新委員となり、会長の吉川洋氏、前年度選考委員長の西村和雄氏を加えた4名が国内選考委員となり、選考委員長は最高得票者の八田達夫氏になったことが報告された。

2. ホームページの活性化に向けての活動が報告された。

3. 日本学術会議関係。学術研究団体登録が行われたことが、報告された。平成15年度科学研究費補助金の審査委員候補者の推薦をおこなったことが報告された。

理論経済学第1段に6名、第2段に2名、経済学説・経済思想第1段に2名、財政学・金融論に1名、人文社会情報学に2名、経済統計学第1段に2名、第2段に1名

4. 日本経済学会連合関係。評議員選出、鵜田忠彦氏（一橋大学）、樋口美雄氏（慶応大学）を推薦したこと、学会会合費、5万円認められ、広島大学へ送金されたこと、国際会議派遣補助、外国人学者招聘滞日補助申請はなしであることが、報告された。

#### 機関誌関係

1. 機関誌担当常任理事。福田慎一氏に交替することが報告された。

2. 日本語刊行物『現代経済学の潮流 2002』が刊行され、有資格者に送付されることが報告された。

3. Japanese Economic Review の投稿・審査状況について報告された。

4. 2003年度の日本語刊行物『現代経済学の潮流』の編集委員は、小野善康、中山幹夫、福田慎一、本多佑三の4会員にお願いすることが提案され、了承された。

#### 会計関係

1. 2001年度決算について説明、原案どおり承認された。

2. 2003年度予算（案）が提案され、原案どおり承認された。

## 2003 年度日本経済学会 総会議事録

2003 年 10 月 13 日

明治大学 リバティール・タワー 会場 1013

冒頭、八田達夫会長より、開催校である明治大学および、里見常吉運営委員会委員長に対して謝辞が述べられた。

### 総務関係

1. 理事による無記名投票の結果、2004 年度副会長候補者として、小野善康、金本良嗣、川又邦雄、橘木俊詔、藤田昌久（五十音順）の 5 氏が選出されたとの報告がなされた。
2. 2004 年度春季大会開催校は、明治学院大学にお引き受けいただき、日程は 6 月 12, 13 日（土、日）になることが報告された。また、秋季大会は、岡山大学にお引き受けいただき、日程は 9 月 25, 26 日（土、日）であることが報告された。
3. 春季大会参加料について、2000 円を 3000 円に増額するとの提案がなされ、了承された。
4. 申込書の提出があった 201 名の新入会員希望者について、入会を認めたい旨の提案がなされ、承認された。
5. 賛助会員リストを大会プログラムに掲載したことが報告された。

### 渉外関係

1. 本年度（第 9 回）日本経済学会・中原賞の受賞者は、伊藤秀史会員に決定したことが報告された。
2. 学会ホームページについて、ドメインを取得して、新設するとの報告がなされた。常任理事待遇で、ホームページ担当委員を柴田章久会員にお願いして、そのシステムを構築することが報告された。

3. 日本学術会議関係として、

- ・第19期会員選出について、藤原正寛会員が経済理論部門で選出されたとの報告がなされた。
- ・科学研究費補助金の審査委員について：学会から委員候補を推薦したことが報告された。
- ・今後三年間、日本経済学会学術会議担当委員をおくことが報告された。
  
- ・学会からの日本学術会議会員候補者の推薦について：再任の推薦を行わないという決定をはずしたいとの提案がなされ、承認された。

4. 日本経済学会連合関係の報告事項として、以下の報告があった。

- ・学会会合費補助について：補助申請が通り、5万円が交付され、明治大学に送金した。
- ・国際会議派遣補助について：昨年末に理事に対して申請の募集をおこなったが、応募がなかった。

#### 機関誌関係

1. Japanese Economic Review 関係として、

- ・会員の電子ジャーナル閲覧方法について：会員全員がアカウントを持ち、閲覧できるようになることが報告された。
- ・Consortia Package としての施設購読が254から552施設に増加したとの報告がなされた。
- ・JER投稿論文の審査状況について報告された。

3. Japanese Economic Review の Editor 交替について、来年度より Editor を一人として、岡田章会員にお願いしたいとの提案がなされ、了承された。

4. 日本語刊行物『現代経済学の潮流』の編集委員は、来年度より中山幹夫会員、福田慎一会員が退任し、後任は松井彰彦会員、岩本康志会員になることが提案され了承された。

#### 会計関係

1. 2002年度決算が報告され、了承された。
2. 2004年度予算案が提案され、承認された。

2004年度日本経済学会  
総会議事録

2004年9月26日  
岡山大学創立50周年記念館

冒頭、伊藤隆敏会長より、開催校である岡山大学および、春名章二運営委員会委員長に対して謝辞が述べられた。

総務関係（伊藤隆敏）

以下、敬称略

1. 理事による無記名投票の結果、2005年度副会長候補者として、  
金本良嗣、川又邦雄、藤田昌久、森棟公夫、矢野誠  
(五十音順)の5氏が選出されたとの報告がなされた。
2. 2005年度春季大会開催校は、京都産業大学にお引き受けいただき、日程は6月4、5日(土、日)になることが報告された。運営委員長は小川喜弘(京都産業大学)及び、プログラム委員長：出井文男(神戸大学)。また、秋季大会は、中央大学にお引き受けいただき、日程は9月17、18日(土、日)であることが報告された。運営委員長：浅田統一郎(中央大学)、プログラム委員長：太田誠(筑波大学)。
3. 理事選挙要領の一部改正について  
次のとおり変更された。  
「6. 常任理事は、東部及び西部の選出された理事の中からそれぞれ3名、計6名を決める。原則として、得票順に3名とするが、同一大学からの重複を避け、同点の場合には年長者優先として、常任理事経験者は避ける。総務、渉外、会計の業務担当については、常任理事の互選によって決めるものとする。」

4. 次期理事について

選挙結果が報告、了承された。(任期：2005年4月1日～2008年3月31日)

東部：池尾和人，石井安憲，板谷淳一，伊藤秀史，井堀利宏，岩田規久男，太田誠，清野一治，国友直人，齊藤誠，佐々木公明，里見常吉，瀬古美喜，福田慎一，宮越龍義，矢野誠，山崎福寿，山本拓，吉田あつし，渡部敏明

西部：入谷純，内田滋，大川昌幸，大竹文雄，奥野信宏，奥村隆平，小野善康，柴田章久，下村和雄，土井教之，中嶋哲也，春名章二，藤田昌久，細江守紀，本多佑三，前川功一，宮尾龍藏，森誠，森棟公夫，八木匡

5. 次期常任理事について

(井堀利宏、大川昌幸、太田誠、小野善康、齊藤誠、下村和雄)

の選出が承認された。

会計監査については、大塚啓二郎氏（政策研究大学院大学）と平山健二郎氏（関西学院大学）に委嘱することが報告された。

6. 退会者、54名了承。

7. 申込書の提出があった142名の新入会員希望者について、入会を認めたい旨の提案がなされ、承認された。また、新規賛助会員について、新規に国民生活金融公庫 1口が承認された

8. 日本経済学会に石川賞を設けることについて

常任理事会、理事会の決定にもとづいて、石川賞創設が提案され、了承された。

9. 副会長選挙要領の改正について

副会長候補者業績表を、選挙の際に配布することを決定した。そのため、つぎのように、副会長選挙要領の一部を変更した。（下線部加筆）

「3. 副会長選挙：全会員に郵送する投票用紙による選挙を行う。副会長候補者について、業績表（学歴、職歴、論文または著書5本）を用意して、候補者または、推薦者に記入してもらい、これを投票用紙の郵送時に同封する。」

渉外関係 (西村清彦)

1. 本年度（第9回）日本経済学会・中原賞の受賞者は、松島斉会員に決定したことが報告された。

2. 平成17年度科学研究費補助金の審査委員に関する情報提供について

理論経済学	第1段、5名、第2段、3名
経済学説・経済思想	第1段 2名、第2段、1名
財政学・金融論	第1段 1名
情報学	第1段 1名

を推薦した。

3. 日本経済学会連合関係の報告事項として、以下の報告があった。

- ・学会会合費補助について、今年度は、補助申請が通らなかった。
- ・国際会議派遣補助について：昨年末に理事に対して申請の募集をおこなったが、応募がなかった。
- ・英文年報（第24号）への執筆について 報告があった。

4. 学会ホームページについて

柴田章久より新ドメイン取得とHP移行 <http://www.jeaweb.org/jp/>  
が報告された。また、BIGLOBEとの契約内容が報告された。

### 機関誌関係（福田慎一）

1. 以下のような報告があった。

Japanese Economic Review 関係について、

- ・JER 契約更新がおこなわれた。
- ・非会員向けの販売価格の改訂がおこなわれた。

2. 日本語刊行物関係

- ・2004年度『現代経済学の潮流』定価について報告があった。
- JER投稿論文の審査状況について報告があった。

3. 日本語刊行物『現代経済学の潮流』の編集委員は、本多佑三氏（大阪大学）に代わって、二神孝一氏（大阪大学）が入り、岩本康志氏（一橋大学）、松井彰彦氏（東京大学）、2004秋季プロコミ委員長の橋木俊詔氏（京都大学）が委員となることが、了承された。

### 会計関係（樋口美雄）

1. 2003年度決算が報告され、了承された。

2. 2005年度予算案が提案され、承認された。

収支の見込み、会費の納入状況について報告された。

## 2005年度日本経済学会 総会議事録

日時：2005年9月18日（日）13：30－

会場：中央大学・多摩キャンパス 8304（8号館3F）

冒頭、楠木俊詔会長より、開催校である中央大学および、浅田統一郎運営委員会委員長に対して謝辞が述べられた。

### 総務関係

1. 理事による無記名投票の結果、2006年度の候補者として  
猪木武徳、金本良嗣、藤田昌久、本多佑三、矢野誠  
(五十音順)の5氏が選出されたとの報告がなされた。
2. 2006年度春季大会開催校は、福島大学にお引き受けいただき、日程は6月3、4日（土、日）になることが報告された。運営委員長は箱木禮子先生（福島大学）、プログラム委員長は深尾京司先生（一橋大学）。また、秋季大会は、大阪市立大学にお引き受けいただき、日程は10月21、22日（土、日）であることが報告された。運営委員長は森誠先生（大阪市立大学）、プログラム委員長は小川一夫先生（大阪大学）。
3. 退会会員については自己都合退会者53名、会費3年滞納者23名が了承された。
4. 155名の新入会員希望者について、入会を認めたい旨の提案がなされ、承認された。  
また、新規賛助会員について2団体が承認された。
5. 秋季大会および春季大会の開催形式および運営方式を下記のように変更することが報告された。  
「秋季大会は、中原賞講演・石川賞講演・特別講演講演・応募採用論文をプログラムの基礎におくものとする。春季大会は、会長講演・招待講演・応募採用論文をプログラムの基礎におくものとする。会長講演並びに中原賞講演・春の招待講演講演は機関誌 *The Japanese Economic Review* に刊行し、潮流は、会長講演、石川賞講演、秋の特別報告、パネル・ディスカッション、を掲載することを原則とする。」

### 渉外関係

1. 本年度（第10回）日本経済学会・中原賞の受賞者は、星岳雄氏（カリフォルニア大学サンディエゴ校）に決定したことが報告された。

理事投票の結果、2006年度選考委員は、最高得票者及び次点者の国友直人氏と神取道宏氏の2氏に決定し、これに会長の橋木俊詔氏と前年度委員長の森棟公夫氏を加えた4氏に国内選考委員をお願いし、選考委員長は国友直人氏となった。2006年度日本経済学会・中原賞の受賞者は、北村祐一氏（エール大学）に決定したことが報告された。

2. 日本経済学会・石川賞について、理事投票の結果、2006年度選考委員は、最高得票者及び次点者の本多佑三氏と金本良嗣氏の2氏に決定し、これに会長の橋木俊詔氏、初回の今回は前年度委員長の代わりに副会長の森棟公夫氏を加えた4氏に選考委員をお願いし、選考委員長は本多佑三氏となった。2006年度（第1回）受賞者は大竹文雄氏（大阪大学）に決定したことが報告された。

3. 科学研究費補助金の審査委員候補者に関する情報提供について  
常任理事会のもとに「科学研究費審査委員候補者選考委員会」（通称、科研費委員会）を設置し、日本学術振興会に対し、平成18年度分候補者として34名の情報提供を行った（委員長：岩本康志氏、委員：西村清彦氏、太田誠氏）。細目でみると、のべ58件の情報提供となる（理論経済学：9、経済統計学：10、応用経済学：13、経済政策：10、財政学・金融論：11、人文社会情報学：2、統計科学：3）。平成19年度分についても科研費委員会を継続する（委員長：岩本康志氏、委員：下村和雄氏、太田誠氏）。

4. 日本学術会議会員候補者の情報提供について  
日本学術会議からの依頼の諸条件をみたとすように、12名の情報提供を行った。内訳は、産業人・実務家：1、若手研究者：4、女性研究者：3、地方在住者：7。（内訳の合計が12を越えるのは、1人で女性かつ若手かつ地方といった条件を満たす人がいるからである。）

5. 第2回（平成17年度）日本学術振興会受賞候補者の推薦について  
同賞に関する日本学術振興会からの文書の内容を前・現理事へ通知し、学会HPに掲示することにより会員に周知した。個人推薦の形を取った。

#### 6. 日本経済学会連合関係

##### ・評議員・理事について

第20期（2005.4～2008.3）の評議員に井堀利宏氏と太田誠氏がなった。平成17年度第1回評議員会の投票の結果、井堀利宏氏が理事に選出された。

##### ・学会会合費補助申請について

秋季大会についての申請が第2次募集で受理され、5万円支給されたので、開催校経費として中央大学に5万円を追加配分した。

##### ・国際会議派遣補助申請について申請はなかった。

## 7. 大学評価・学位授与機構関係

- ・機関別認証評価に係る専門委員候補者の推薦について  
同機構からの諸条件を満たしつつ、11名の推薦をした（内、女性2名）。

## 8. 学会員 Email リストについて

- ・HP 担当理事の柴田章久氏のもとで、会員 Email リスト作成の検討をすることと、会員 Email リストが作成された場合、会員 Email リストを使えるのは、渉外担当理事を通じて事務局のみとするという方針であることが、報告された。

## 機関誌関係

### 1. Japanese Economic Review関係

以下のような報告があった。

- ・著作権委譲書の内容変更について
- ・2006年度以降の JER 買い上げ価格変更について
- ・2006年ジャーナル価格（非会員向け）について
- ・JER 投稿論文の審査状況について

### 2. 日本語刊行物関係

- ・2005年度版『現代経済学の潮流』定価について報告された。
- ・2006年度以降の編集委員について、現在、岩本委員と松井委員の後任を人選中であり、代わって市村英彦氏（東京大学）、伊藤秀史氏（一橋大学）に依頼をすることが承認された。
- ・投稿論文の廃止について、2007年度版を最後に『現代経済学の潮流』への投稿募集を廃止することが報告された。

## 会計関係

1. 学会の中に会計に関する細則が新しく設けられ、その細則の中に（1）学会の会計年度を、当該年度4月1日から翌年度3月31日とすること、（2）会費納入が年度内に行われず、翌年度以降に遅延した場合、年当たり延滞料1,000円が加算されることを明記する事、が理事会において承認された旨報告された。

2. 2006年度が学会名簿の作成年度である事から、学会員に個人情報の提供を求めることになるが、照会のはがきなどに学会員から寄せられた個人情報を学会名簿に公表することに承諾していただく署名をしていただく可能性を含め、個人情報の公表範囲についての学会員の希望を尊重し、学会としてその取り扱いを慎重にするため、情報の照会の仕方や名簿の形式などについて、常任理事会に一任していただきたいとの説明があり、了承された。

3. 2004年度決算

了承された。

4. 2006年度予算（案）

了承された。

5. 会費納入状況

学会費の納入状況について、きわめて良好であることが報告された。